

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

令和7年度

法人名	社会福祉法人 青い海の会	代表者	木村鶴恵	法人・ 事業所 の特徴	基本理念「地域で支え・笑顔・ぬくもり」くじらの心「みんな生き生きくじらで暮らす」くじらに関わる全ての人が、大海原を生き活きと泳ぐくじらのように元気に毎日過ごす。そんな笑顔・ぬくもりのある場所になれるよう取り組んでいる。こども園併設の特徴を生かし、園児たちと日常的な交流ができアットホームな空間が楽しめる。地域住民の方と毎月末の日曜日に「くじらの会」という交流会を開催し、体操・歌・踊り・読み聞かせ・世代間交流などを企画している。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護事業所 南浜の家くじら	管理者	高橋恵子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	2人	0人	2人	1～2人	0人	6人	0人	16人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	・職員会議で、課題点について取り組んでいるか定期的に検証する。 ・運営推進会議の中で、事業所の課題点についてどんな取り組みをしているか具体的に伝える。	・情報共有がスムーズにいくように、LINE を活用、申し送りノートや口頭でも伝え合うようにした。 ・まだ足りない点や、取り組んでいる事を運営推進会議の中で具体的に伝えるようにした。	・職員会議に出席出来なかった職員に、会議の内容がいきわたるようにするため、会議録の確認方法を見直してみてもどうか。 ・情報共有がよりうまくいくように工夫している事が伝わってきた。	・大切な連絡事項は、スタッフルームではなく、事務室を経由して伝えるようにし、情報共有がもっといきわたるようにしていく。 ・職員会議で、課題点について取り組んでいるか定期的に検証する。
B. 事業所の しつらえ・環境	・常に利用者の目線にたち、どんな環境が心地よく感じるかを意識しての空間づくりを心がける。 ・家族や地域の方々が、ここにこの事業所があって良かったと思っただけのように、職員が力を合わせ、環境づくりに努める。	・除菌や清掃に力を入れ、常にきれいな状態が保てるようにした。 ・経年劣化で事業所の様々な所が傷んできているが、直したり大切に使うことで清潔感を保ったり愛着がわいている。季節の花は職員も利用者も持ち寄りいつも飾っている。	・いつ来所しても利用者にとって五感が研ぎ澄まされるような環境作りになっていると感じる。 ・安全対策については、どのようなことをしていますか。 ・「一人ひとりが主役になれる場所」と感じる。	・利用者、ご家族、地域の方々はこの事業所があってよかったと思っただけよう、職員が力を合わせ、安全で居心地の良い環境づくりに努める。 ・換気や除菌を日々行い、清潔で使いやすいように工夫する。
C. 事業所と地域の かかわり	・会議に今後も全職員が順に出席し事業所の理解を深めていただけるよう、また、全職員が地域の方々と顔なじみとなれるようにする。 ・小中学校はもちろん、地域大学生とも関りを深め、多くの方々とつながりを持ち続けていく。	・会議やくじらの会に多くの職員が関わり、顔なじみも増えてきた。 ・小中高校生、近隣の大学生と、くじらの会や行事を通し、交流を持つことができた。 ・地域支援センターや公民館、水族館等とも協働できている。	・少子化でも、こどもたちとの深い繋がりが各活動から感じられる。 ・事業所の行事等には、多くの人に関わっている様子だが、地域の行事には事業所として参加できていないのかかわらなかつた。	・会議に全職員が順に出席し事業所の理解を深めていただけるよう、また、地域の方々と顔なじみになれるようにする。 ・小中高校はもちろん、地域大学生とも継続して関わりを深め、多くの方々と繋がりをもち続けていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・地域の豊かな資源(種差海岸や大久喜漁港、山、隣接するこども園、様々な機関)を生かして、利用者が、事業所以外でも活動できる場を広げる。 ・利用者の思いや希望によりそい、柔軟な対応を心がける。	・近隣の機関と連携して、中学生と認知症徘徊模擬訓練を行うことができた。 ・利用者のおもいに触れた職員が情報共有し、できる限りそのおもいにこたえられるよう考えを出し合い、実現に結びつけるようにした。	・春夏秋冬と地域の豊かな自然に触れる機会をたくさん企画して、利用者にとって多くの刺激になっていると思う。どのようにしたらみなさん楽しい時間を過ごせるのかいつも考えてくださり感謝している。	・地域の豊かな資源(種差海岸や大久喜漁港、山、隣接するこども園、様々な機関)を生かして、利用者が、事業所以外でも活動できる場を広げる。 ・利用者の思いや希望によりそい、柔軟な対応を心がける。

E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議の中で、地域の課題点について話し合い、みんなが助け合い住みやすい所と思えるようにしていく。 ・会議の中で、事業所の取り組みをわかりやすく伝える。	・子どもの数は以前に比べるとかなり減っているが、小中学校校長も会議に参加してくださり、深い交流を持つ事ができている。 ・毎回、様子を写真を添えて伝えているのでより理解してもらえた。	・近隣の小中学校の統合問題について何度か触れ、できれば子どもの数は減っているが、学校と深く連携がとれて、交流が持てている現在、地域から学校がなくなるといいなと、委員みんなで話す。	・運営推進会議の中で、事業所に求めることや知りたいことはないか聴き、今後に生かしていく。 ・委員からの情報や人脈を大切に、つながりの輪を広げ、地域に必要とされる事業所を目指す。
F. 事業所の防災・災害対策	・合同防災訓練で得た反省点や教訓を、BCP に反映させ、定期的に見直したり、職員一人ひとりの防災意識を高く持つ。 ・目標を明確にし、継続して、合同防災訓練を行う。	・実際に大きな地震が起きた時に、職員間で連絡網がうまく繋がった。また、反省点も出て、今後のBCPの見直しにいかせた。 ・防災訓練はポイントを絞り、具体的な目標にして行うことができた。	・合同防災訓練に近隣住民が参加できれば更に実践的な訓練になると思う。 ・自然災害が多い中、万が一に備えての対策、訓練に取り組んでいくことに安心している。	・地域の子どもたちと深く関わりを持ち、自然災害時等には、地域の方々に当事業所を頼っていただけるよう、情報開示を行う。 ・具体的な目標を立て、継続して合同防災訓練を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年8月27日（水）～9月10日（水）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	高橋（恵）、鈴木、川原木、高橋（順）、高橋（和） 野沢、程熊、高橋（加）、竹駒（恵）、本間、種子 油井、地代所、中屋敷、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	5	9	1			15

前回の改善計画
急なケアの変更時などはとくに、申し送りノートに記入するだけでなく、口頭でも職員に内容を伝える。話した事がきちんと伝わっていると、利用者様やご家族様がその事を感じて安心して頂けるようにする。本人がまだ慣れていない時期は、不安を取り除くことができるような言葉をかけたり、見守りを強化し本人やご家族様との信頼関係づくりに努める。利用初期は、特に関わった職員が気づいたことを申し送りノートやミーティング等で伝え、職員間での連携を密にする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・職場でLINEを活用し、以前よりも細めに情報共有できるようになった。口頭でも伝えたり、申し送りノートを活用していても、職員間での伝え忘れにより、利用者様にご迷惑をかけた事もある。 ・小さな事でも、気づいたら伝え合うよう各自努めていた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5	9	1		15
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	6	9			15
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	8	6	1		15
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	5	6	4		15

できている点
・今年度はグループLINEを作り、その都度気づいた事や情報について早めに発信することができた。LINEに参加していない職員のために、申し送りノートも今まで通り活用し、重複になっても情報不足にはならないようにしていると感じる。 ・職員会議の個別カンファレンスの中で情報交換することができた。 ・業務に入る前に申し送りノートに目を通すよう努めている。 ・利用者様の体調等に応じた食事内容、量等に気を付けて実行できたと思う。

できていない点
・新規の利用者様の情報が少なく、利用開始直前でもケアについて分からない事があった。 ・ご本人様やご家族様が必要としている支援が適切に行われていない部分がある。 ・時々、全職員に連絡事項が伝わってなく、ご家族様から「〇〇さんに言いましたが…」と不信な様子で話されることもある。 ・ご家族様、介護者の不安が何かを適確にとらえること。

次回までの具体的な改善計画
急なケアの変更時や、方向性を伝える時は、具体的に表記し、すべての職員が理解できるよう心がける。本人がまだ慣れていない時期は、不安を取り除くことができるような言葉をかけたり、見守りを強化し本人やご家族様との信頼関係づくりに努める。職場LINE、申し送りノート、ミーティング等で伝え、職員間での連携を密にする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年8月27日（水）～9月10日（水）
2.「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	高橋（恵）、鈴木、川原木、高橋（順）、高橋（和） 野沢、程熊、高橋（加）、竹駒（恵）、本間、種子 油井、地代所、中屋敷、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	3	10	2			15

前回の改善計画
支援内容を振り返り、成功した事、うまくいかなかった点など具体的に考え、カンファレンスの中で発表し合う。担当者会議にスタッフが積極的に参加する。 本人の希望を職員間で共有し、実現可能なものは実現につなげる。本人の「おもい」とご家族様の「おもい」をうけとめ、どうする事が利用者様にとって良いのかを職員でよく話し合い、ケアの方向性を決めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・「～したい」のおもいを受けとめた職員が他職員に伝え、すぐに対応できて、利用者様に喜んでいただいた例をいくつか経験、共有できた事は自分たちの自信につながった。 ・本人の「おもい」とご家族様の「おもい」を受け止め、どのようにしたら利用者様にとってよいのか職員間で話し合い考えていくことは、これからも大切な課題である。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2	8	5		15
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	10	3		15
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	3	9	3		15
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	5	9	1		15

できている点
・時間の許す限り話を聞く努力を心掛けたかなと思う。 ・職員会議のカンファレンスでは、全利用者様について触れ、各担当者が気づいた事を伝え、他職員も意見を述べて、お互い情報共有することができている。 ・カンファレンスの中で気づけない課題を発見することができた。 ・ご本人様の「おもい」とご家族様の「おもい」は、かけ離れていることもあるが、職員が知恵を出し合いどうすることがよいのか真剣に話し合ったり、ケアの仕方を決めていくことは日々できている。

できていない点
・議事録や臨時のカンファレンス、他申し送りノートについても印だけ押して中身を確認していない。 ・ご本人の目標（ゴール）は何かと問われると、分からない利用者様もいる。 ・利用者様のおもいとご家族様のおもいが違うため、利用者様のおもいに応えられないことがある。 ・実現可能なものを実現につなげない方もあった。

次回までの具体的な改善計画
「～したい」のおもいにふれた職員は、他職員に伝え合い、それが可能な事なのか、どのようにしたら本人に喜んでいただけるのかを具合的に考える。担当者会議に職員が積極的に参加する。本人の「おもい」とご家族様の「おもい」をうけとめ、どうする事が利用者様にとって良いのかを職員でよく話し合い、ケアの方向性を決めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年8月27日（水）～9月10日（水）
3. 日常生活の支援	メンバー	高橋(恵)、鈴木、川原木、高橋(順)、高橋(和)、野沢、程熊、高橋(加)、竹駒(恵)、本間、種市、油井、地代所、中屋敷、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未回答	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	5	8	1	1		15

前回の改善計画
本人の能力や可能性に着目し、それらを活用した生活・支援を目指す。今後も内部・外部研修に積極的に参加し、得たものを職員間で共有し合う。利用者様からの声や気づきを細やかに記録したり、伝え合い共有する。 今までの暮らし方がどうだったのか情報を得た時も職員間で共有し、本人の理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果
・職場LINEにより、速やかに具体的に本人の情報を共有できるようになった。それ以外のツールも活用し、細やかに伝え合うよう努めている。 ・本人の能力や可能性に着目したケアの仕方について、もっと職員同士考えを出し合い、個々も全体もスキルアップしていければよい。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未回答	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	2	4	9			15
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	10	1			15
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3	8	4			15
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7	8				15
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6	8	1			15

できている点
・何かいつもと違うと感じたら他職員にも伝え、よく見るようにしている。 ・入浴時1対1になるので、利用者様が本音を話して下さることが多く、それに合った支援を行える。 ・ご本人様の状況に合わせて食事の提供、入浴・排泄など職員間で共有することができた。 ・利用者様やご家族様の問題だったり、体の不調を情報共有したり、困難な時でも支援ができた。

できていない点
・本当のおもい（心の奥の深い部分）をとらえているとはいえない。 ・以前の暮らしでは、10個以上把握できていない。曖昧な事が多い。 ・体調の変化やご自宅での様子に関しては、ご家族様やまわりで感染者がいる場合、教えてくれないご家族様もいる為、対処が遅くなり悪化したこともあったので、施設での拡大を防ぐ事も難しくなると感じた。 ・ご本人様が出来る事でも手伝ってしまう部分があった。

次回までの具体的な改善計画
毎月のカンファレンスにおいて、本人の能力や可能性に着目した具合的なケアについて話し合いをする。知り得た情報を職員間で共有し、事案によっては速やかに対応できるようにする。また、ご家族様からの情報も得ていくために、事業所側から積極的なコミュニケーションをはかる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年8月27日（水）～9月10日（水）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	高橋(恵)、鈴木、川原木、高橋(順)、高橋(和)、野沢、程熊、高橋(加)、竹駒(恵)、本間、種市、油井、地代所、中屋敷、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未回答	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	8	6	1			15

前回の改善計画
本人の自宅での過ごし方、地域の方々との関わり方に関心を持ち、理解を深める。職員が更に地域力、地域資源を意識して、活動にいかせるよう努める。 今後も事業所周辺の豊かな自然（種差海岸、漁港、山等）にふれ、おおききこども園の園児と交流する等、利用者様の地域交流の場を広げる。
前回の改善計画に対する取組み結果
・以前に比べると、地域資源を活用した支援ができています。年齢も幅広く交流の輪が広がってきている。 本人の自宅での過ごし方については、まだよく分かっていない部分も多い。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未回答	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	12	1			15
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3	10	2			15
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	4	5	6			15
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	3	4	8			15

できている点
・豊かな大自然に恵まれたこの地域の特性を生かし、利用者様がその素晴らしさを感じられるよう外出の機会を多く持っている。 ・町内で菊を育てているご自宅や、芝桜がきれいに咲く畑など、身近な所でも楽しむことができています。 ・小中学校、支援センター、八戸学院短大生、学生ボランティアの方々など多くの地域の人々と交流を持つようになってきた。また、行事でおおききこども園の園児や南浜中学校の生徒との交流することができた。 ・地域からの利用者様やご家族様が多くなっている。地域に関わることで密になり、より厚く支援ができています。

できていない点
・これまでの生活スタイルや人間関係等は理解が足りない部分もある。 ・利用者様ご本人の自宅での過ごし方・地域の方々との関わり方を理解できていなかった。 ・認知症の進行が強い方は、ご家族様がいない時間どのように過ごしているか把握が難しい。利用者様と民生委員の関わりを把握していない。 ・歩行運動がてら、こども園ホールのいい景色を見たり、行事以外でも以前のように雑巾がけなど、ふれあいができたらいいと思う。

次回までの具体的な改善計画
ケアマネや担当職員を中心に、本人の自宅での過ごし方について、更に情報収集を行う。それらから考えられる。事業所ができるケアや過ごし方について、職員間で話し合い実行していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年8月27日（水）～9月10日（水）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	高橋(恵)、鈴木、川原木、高橋(順)、高橋(和)、野沢、程熊、高橋(加)、竹駒(恵)、本間、種市、油井、地代所、中屋敷、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未回答	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	3	10	2			15

前回の改善計画	管理者やケアマネは、ケアの方向性を職員がわかるよう具体的に伝え、それが実行されているか、問題点はないかよく見守る。 日々のかかわりの中で、利用者様の変化に目を向け、伝え合い、柔軟な対応の仕方を共に考えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	- ケアの方向性を具体的に分かりやすく伝えていくことが不十分である。本人やご家族様から知り得た情報を速やかに職員間で共有できていないことがある。 - 利用者様の変化に気づき、柔軟に対応していくことはだいたいできている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未回答	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	6	5	4			15
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	9	6				15
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	8	7				15
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	8	1			15

できている点	- 気づいた職員が管理者やケアマネに相談し、利用者様の気持ちに沿った支援ができている。 - 体調不良の利用者様を訪問したり、宿泊にするなど変化に合わせた対応ができた。 - 体調に応じ入浴日を変えたり、配食の変更等希望に応じている。 - 人手に限りある中でも、即応した柔軟な対応が出来ている。
--------	--

できていない点	- ケアの方向性が分からず、曖昧になっていると感じる時がある。 - ケアの方向性を具体的に職員に伝えたり、問題点を検討する事がまだ充分できていない。 - その日、その時の利用者様の状態を把握しきれていないことがあった。 - 職員間のコミュニケーションがうまくとれず、利用者様の体調等気づけない事があった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	管理者やケアマネは、知り得た情報を速やかに伝える。また、ケアの方向性についても具体的に分かりやすく職員に伝え、それが実行されているか、問題点はないかよく見守る。職員一人ひとりが、利用者様の変化や言動に注意し、気づいた事や情報を共有し合う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年8月27日（水）～9月10日（水）
6. 連携・協働	メンバー	高橋（恵）、鈴木、川原木、高橋（順）、高橋（和） 野沢、程熊、高橋（加）、竹駒（恵）、本間、種市 油井、地代所、中屋敷、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	8	6	1			15

前回の改善計画	利用者様以外にも、当事業所へ相談や遊びに来ていただけるような雰囲気づくりやイベントを考える。 くじらの会を中心に広がってきた他機関とのつながりの輪を大切に、様々な方々と協働できるよう出逢いの機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	・運営推進会議や、くじらの会等において、大学生ボランティア、作業療法士、高齢者支援センター、小中学校等、様々な地域の方々とつながり、交流をもつことができてきた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計（総人数）
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	5	6	1		15
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3	6	4	2		15
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	9	3	1		15
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	7	5	3			15

できている点	・くじらの会を通じて広がった他機関の方々と話す中で、新しい企画等生まれている。 ・合同防災訓練を通じて、大久喜町内の生徒だけでなく近隣の中学生にも、くじらの事を知ってもらえた。 ・おおくきこども園の園児だけでなく、地域住民の方々、小中学生が以前より多く訪れている。 ・くじらの方で地域の高齢者、小中学生、学生ボランティアの人達と交流することができた。
--------	--

できていない点	・当事業所に他機関から来ていただくことは増えたが、こちらから他の場所へ行く機会はまだまだ足りていないと感じる。 ・その他のサービス機関との会議に参加できていない。 ・使用していない福祉用具がそのままであったり、退所者の福祉用具も返却されていない時があったと感じる。 ・くじらの会に毎回同じ職員ではなく、別の職員にも是非参加してほしいと思う。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	来客者や電話には、丁寧な対応・挨拶を心がける。利用者様以外にも、当事業所へ相談や遊びに来ていただけるような雰囲気づくりやイベントを考える。 今後も他機関とのつながりの輪を大切にしていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年8月27日（水）～9月10日（水）
7. 運営	メンバー	高橋(恵)、鈴木、川原木、高橋(順)、高橋(和)、野沢、程熊、高橋(加)、竹駒(恵)、本間、種市、油井、地代所、中屋敷、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未回答	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	7	7	1			15

前回の改善計画
今後、関わりを持つことができた事で分かった事や反省点を活かし、企画・具体的な内容を決めていく。利用者様やご家族様の意見や要望・苦情を真摯に受けとめ、丁寧に対応しながら事業所のあり方を振り返る糧としていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
- 運営推進会議に地域の小・中学校の校長先生方に参加いただいてから、合同で防災訓練を行ったり、行事に参加したりと、交流が更に広がってきた。 - 南浜中学校において様々な機関とつながり、認知症徘徊模擬訓練を行うことができたのも、事業所にとって有意義な時間であった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未回答	合計(総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	5	7	3			15
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	6	8	1			15
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	7	3	4	1		15
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	8	4	3			15

できている点
- 他機関と合同で防災訓練（南浜中学校）、徘徊訓練（支援センター、中学校、八戸学院短大等）を行い、協働の輪が確実に広がっている。 - 運営推進会議に参加されている町内会長様から、色々な意見を聞く事ができ、学校との関わり方もほめていただき、今後も継続していこうという意欲につながっている。 - 事業所のあり方について意見を言ったり、利用者様やご家族様からの意見、苦情を所長ケアマネに意見を言う事が出来ている。 - 利用者様やご家族様から質問や要望があった時は、事業所のあり方を見直し、より分かりやすく伝えられるよう努めている。 - 介護職員が順番に運営推進会議に参加している。

できていない点
- 地域の行事に参加する機会があまりなかった。 - 請求書や計画書をみて、内容が分からなく問い合わせがあった。また、週末に帰宅される利用者様からもいつ帰るのかという問い合わせがあった。 - 健康教室などの大きな会は回覧をしているが、普段のくじらの会については知らない町内の方もいる。 - 要望や苦情に対する対応が適切ではない部分があったと思う。

次回までの具体的な改善計画
今後、地域他機関と関わりを持つことができた事で分かった事や反省点を活かし、企画・具体的な内容を決めていく。利用者様やご家族様の意見や要望・苦情を真摯に受けとめ、丁寧に対応しながら事業所のあり方を振り返る糧としていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年8月27日（水）～9月10日（水）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	高橋(恵)、鈴木、川原木、高橋(順)、高橋(和)、野沢、程熊、高橋(加)、竹駒(恵)、本間、種市、油井、地代所、中屋敷、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	4	8	3			15

前回の改善計画	職員会議で、それぞれが意見を活発に出し合い、お互いに高めていけるような有意義な会議にしていく。地域連絡会に参加できない職員へも情報共有を行い、当事業所を全職員が知恵を出し合い、改善していけるよう取り組む。 介護保険制度の仕組みや法改正について学び合い、働くことの価値や喜びを持てるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員会議や申し送り時に、各自が意見を出し合う事はできるようになってきた。情報共有のために行っている事（職場LINE、申し送りノート、口頭で伝えあう）また、その情報を受け取る側（LINEや申し送りノートの確認、報告書の確認、伝え合い）が、まだ不十分な部分があり、意思疎通がはかれていない事がある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計(総人数)
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	7	5	2	1		15
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	4	4	2		15
③ 地域連絡会に参加していますか	3	5	5	2		15
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	4	1		15

できている点	・会議での研修、参加した職員の報告を通じて学ぶことができた。 ・会議録は、なるべく次の日にはまとめ早めに掲示できた。 ・スキルアップのための研修、これから一生懸命に取り組もうと思っている。 ・さらに各自が掲示物にしっかり目を通すことができるよう印の所に各職員の名を入れるようにした。
--------	--

できていない点	・介護保険制度の中で変化してきている所に着目し、職員間で情報共有するところまでできていない。 ・もう少し保険制度について学びたいという気持ちはあるが、中々時間が作れない。 ・職員会議や運営推進会議、各報告書についても、印を押すだけで中身を確認していない事がある。そのため、会議で何度も事務連絡をしていることが守られていない。 ・職場外研修やスキルアップのための研修に参加できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	職員会議で、それぞれが意見を活発に出し合い、お互いに高めていけるような有意義な会議にしていく。地域連絡会に参加できない職員へも情報共有を行い、当事業所を全職員が知恵を出し合い、改善していけるよう取り組む。 介護保険制度の仕組みや法改正について学び合い、働くことの価値や喜びを持てるようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年8月27日(水)～9月10日(水)
9. 人権・プライバシー	メンバー	高橋(恵)、鈴木、川原木、高橋(順)、高橋(和)、野沢、程熊、高橋(加)、竹駒(恵)、本間、種市、油井、地代所、中屋敷、山口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4	9	2			15

前回の改善計画	プライバシーに関わる話もそうでない時も、声量・場所等配慮する。 高齢者虐待、人権やプライバシー、成年後見制度等の研修・学習を取り入れ、職員が理解を深めるようにする。また、接遇やマナーについても改めて見なおし、利用者様の尊厳を重んじるケアに努める。 各自守秘義務について意識を高く持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	・高齢者虐待についての研修を受けた職員から報告を聴いたり、ニュースになっている事件等から職員が学べるようにしている。声量、場所(プライバシー、守秘義務)に配慮する点については、まだ改善の必要がある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未回答	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	11	4				15
② 虐待は行われていない	11	4				15
③ プライバシーが守られている	7	7	1			15
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	2		11	15
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	7	7	1			15

できている点	・プライバシーを守るよう、難聴の方との会話時は周囲の他利用者様の内容がもれないよう、内容によっては筆談も活用し配慮した。 ・トレイ時、入浴時、おむつ交換時等は、他利用者様に見えないよう配慮している。 ・利用者様のプライバシーや尊厳を重んじるケアになるよう努力している。 ・成年後見制度を活用する利用者様がいないくても、職員が研修等に参加し得たものを他職員にも伝え理解を深めることができるよう学んでいる。
--------	--

できていない点	・情報を伝え合う時、無意識に声が大きくなって利用者様方に聞こえる声量の時がある。 ・プライバシーの話、声量、場所など配慮に欠ける時があった。 ・来客者や電話応対など、基本的なことができていないと感じる事がある。 ・人権やプライバシーに配慮しているつもりだが、自分で気づいていないことがあるかもしれない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	プライバシーに関わる話もそうでない時も、声量・場所等配慮し、お互い注意し合う。 高齢者虐待、人権やプライバシー、成年後見制度等の研修・学習を取り入れ、職員が理解を深めるようにする。また、接遇やマナーについても改めて見なおし、利用者様の尊厳を重んじるケアに努める。 各自守秘義務について意識を高く持つ。
---------------	---